

2023年8月20日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒241番（KH 姉）

『主の御稜威と』

聖書⇒詩編 119:54 節（MM 姉）

『この仮の宿にあって／あなたの掟をわたしの歌とします。』（新共同訳）

『あなたの定めはわが旅の家で、／わたしの歌となりました。』（口語訳）

礼拝讃美歌⇒25番（旧9番）

『神の小羊と』

聖書⇒詩編 19 編（交読）（SK 兄）

『【指揮者によって。賛歌。ダビデの詩。】

天は神の栄光を物語り／大空は御手の業を示す。

昼は昼に語り伝え／夜は夜に知識を送る。

話すことも、語ることもなく／声は聞こえなくても

その響きは全地に／その言葉は世界の果てに向かう。そこに、神は太陽の幕屋を設けられた。

太陽は、花婿が天蓋から出るように／勇士が喜び勇んで道を走るように

天の果てを出で立ち／天の果てを目指して行く。その熱から隠れうるものはない。

主の律法は完全で、魂を生き返らせ／主の定めは真実で、無知な人に知恵を与える。

主の命令はまっすぐで、心に喜びを与え／主の戒めは清らかで、目に光を与える。

主への畏れは清く、いつまでも続き／主の裁きはまことで、ことごとく正しい。

金にまさり、多くの純金にまさって望ましく／蜜よりも、蜂の巣の滴りよりも甘い。

あなたの僕はそれらのことを熟慮し／それらを守って大きな報いを受けます。

知らずに犯した過ち、隠れた罪から／どうかわたしを清めてください。

あなたの僕を驕りから引き離し／支配されないようにしてください。

そうすれば、重い背きの罪から清められ／わたしは完全になるでしょう。

どうか、わたしの口の言葉が御旨にかない／心の思いが御前に置かれますように。

主よ、わたしの岩、わたしの贖い主よ。』

(祈)

礼拝讃美歌⇒219番(旧146番)(KH兄)

『栄えにて』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11:23~26節 (KH兄)

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

(式)

礼拝讃美歌⇒142番(旧58番)

『渡されたもう』

《建徳》

聖書⇒ヨハネによる福音書 8:32節 (HK兄)

『あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。』』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 4:25~27節

『だから、偽りを捨て、それぞれ隣人に対して真実を語りなさい。わたしたちは、互いに体の一部なのです。怒ることがあっても、罪を犯してはなりません。日が暮れるまで怒ったままではいけません。悪魔にすきを与えてはなりません。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 13:12~14a 節 (KH 兄)

『夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨てて光の武具を身に着けましょう。日中を歩むように、品位をもって歩もうではありませんか。酒宴と酩酊、淫乱と好色、争いとねたみを捨て、主イエス・キリストを身にまといなさい。』

聖書⇒ガラテヤの信徒への手紙 2:20 節

『生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。』

聖書⇒ガラテヤの信徒への手紙 3:27 節

『洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 13:11~14a 節

『更に、あなたがたは今がどんな時であるかを知っています。あなたがたが眠りから覚めるべき時が既に来ています。今や、わたしたちが信仰に入ったころよりも、救いは近づいているからです。夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨てて光の武具を身に着けましょう。日中を歩むように、品位をもって歩もうではありませんか。酒宴と酩酊、淫乱と好色、争いとねたみを捨て、主イエス・キリストを身にまといなさい。』

礼拝讃美歌⇒214 番 (旧 92 番) (KH 兄)

『主よ君の愛は限りぞなき』

《建徳要旨》